

平成30年度 第1回千葉市スポーツ推進審議会議事録

- 1 日 時 平成30年7月20日（金） 午後2時00分～午後3時30分
- 2 場 所 千葉市教育委員会 第一会議室
- 3 出席者 (委員)
小川直哉会長、本澤英雄副会長、小川重夫委員、五月女重夫委員、柴田健委員
津野政彦委員、馬場宏輝委員、前田信治委員、山根和子委員
(事務局)
那須生活文化スポーツ部長、塚瀬公益財団法人千葉市スポーツ振興財団施設長、
山崎スポーツ振興課長、内山スポーツ振興課長補佐、由利保健体育課長補佐、
野崎指導主事、宇井担当課長補佐、伊橋主査、草場主査、竹内主事

4 議 題

(1) 報 告

- ア 平成29年度スポーツ振興事業実績及び平成30年度方針と施策について
- イ 千葉市スポーツ推進計画の進行管理について
- ウ FUN+WALKプロジェクトの職員実施状況について

(2) 議 事

- ア 運動ガイドマップについて

5 議題の概要

(1) 報告

3項目の報告を行った。

(3) 議事

運動ガイドマップについてご審議いただいた。

6 会議経過

開 会 午後2時00分

【内山課長補佐】 それでは、定刻になりましたので、ただいまより、「平成30年度第1回千葉市スポーツ推進審議会」をはじめさせていただきます。本日の進行を務めます、スポーツ振興課の内山でございます。本審議会は千葉市情報公開条例により、公開することになっておりますが、本日は傍聴者はおりません。

会次第に従いまして、はじめに、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。(委員9名を紹介)

なお、委嘱状につきまして、委員の皆様にはご内諾をいただいておりますことから、お手元に配布させていただきましたので、宜しくお願いします。

それでは、続きまして生活文化スポーツ部長の那須より御挨拶申し上げます。

【那須部長】 本日は大変お忙しい中、また大変暑い中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また日頃より千葉市のスポーツ振興にご尽力いただきまして誠にありがとうございます。本スポーツ推進審議会はご承知のとおりこの7月に改選があり

まして、新たなメンバーを迎えましてスタートしたわけですが、多くの方々は前回に引き続いて委員をお引き受けいただいているところです。また、今回から3名の方が新たに加わっていただいております。これから2年間でスポーツ振興についてのご審議を賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。また、昨年度につきましては、当審議会ですports実施率の向上についてのご審議をいただいたところでございます。その内容を踏まえまして、本日もご報告させていただきます「FUN+WALK」やご審議いただきたいと考えております「運動ガイドマップ」など、これらも実施率向上施策の一つとしてご審議いただきたいと考えております。sports実施率の向上につきましては、東京オリンピック・パラリンピックの会場都市として大変重要な取組みだと考えておりますので、本日はご忌憚のないご意見を賜りたいと考えております。審議会の冒頭にあたりまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

【内山課長補佐】ここで、職員を紹介させていただきます。(事務局職員10名を紹介)

次に、役員を選出でございますが、お配りしている「平成30・31年度千葉市スポーツ推進審議会委員一覧」の裏面にあります「千葉市スポーツ推進審議会に関する条例」の第5条に会長、副会長を置くこととなっております。同条第2項により皆様の互選により定めていただきますようお願いいたします。

【五月女委員】前回と同様、小川直哉委員へお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【各委員】<了承>

【小川(直)委員】了解しました。それでは、副会長についてですが、前回同様、本澤委員へお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

【各委員】<了承>

【内山課長補佐】それでは小川直哉会長にご挨拶をお願いいたします。

【小川会長】今猛暑が続いております熱中症で救急搬送される方も多いと報道されておりますが、本当に暑い中、本日は第1回のスポーツ推進審議会に出席いただきましてご苦勞様でございます。部長からも話がありましたように、2020東京オリパラも間近に迫ってきておまして、幕張メッセにおいてオリンピック3種目、パラリンピック4種目、計7種目が行われるということでございます。しかしながらその一方で週1回以上の千葉市民のsports実施率というのは全国平均をはるかに下回って非常に低いということで、高齢者の方は比較的よくやっておりますが、20代～50代のいわゆる働き世代が非常に運動の実施率が低いということで、昨年度、委員の皆様から貴重な意見を提出していただきましてそれを取りまとめて市長に提言を提出したわけでありまして。ちなみに、千葉県の総合運動大会におきましては、千葉市は男子も女子も優勝で総合優勝を果たしまして、連続優勝も重ねておまして、いわゆる各協会のアスリートの方は非常にいい成績なのですが、一般市民の方まではなかなかsportsが浸透していかないというのが現状でございます。今期も委員の皆様から貴重な意見を出していただきまして、市民のsports実施率の向上、そしてまた障害者sportsの推進にも意見を出していただければと思います。本年もよろしくお願いいたします。

【内山課長補佐】ありがとうございます。続きまして、本澤副会長にご挨拶をお願いいたします。

【本澤副会長】暑い中ご苦勞様です。引き続き副会長ということでやらさせていただきます。今会長から話がありましたように、市民のsportsの実施率が非常に少ないということで、

われわれスポーツ推進委員連絡協議会としても色々取り組んでいるところです。また、子どもたちがこれから夏休みに向けて球技大会などが計画されているわけですが、今年は非常に暑いということで、健康面には十分注意をしなければならぬということで、各地区にもこのことを連絡いたしまして、健康第一ということでやっていくつもりでおります。高齢者の競技については参加率が高いのですが、お話があったように、中間の働き盛りの人たちのスポーツの実施率が非常に少ないということで、本日の審議事項にある「運動ガイド」のようなものでさらに周知を図り、なるべく多くの方がオリンピック・パラリンピックにも向けて、ボッチャなどの気軽にできるパラスポーツなども広めていきたいと考えておりますので、皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【内山課長補佐】ありがとうございました。これからの進行につきましては、小川会長にお願いいたします。

【小川 会長】まず、「議事録署名人」について、先程、山崎課長補佐から説明があったように、本審議会は会議が公開されており、議事録の確定方法については、「あらかじめ指名された委員」による承認にしたいと思います。よろしいですか。

【各 委 員】<異議なし>

【小川 会長】それでは、議事録署名人として、津野委員にお願いしたいと思います。

【津野 委員】<了承>

【小川 会長】それでは、会議次第に従いまして、進めてまいりたいと思います。

最初に、報告（１）の「平成 29 年度スポーツ振興事業実績及び平成 30 年度方針と施策について」、はじめに、スポーツ振興課よりお願いします。

【草場 主査】<資料 1 により報告>

【小川 会長】次に、保健体育課よりお願いします。

【由利課長補佐】<資料 2 により報告>

【小川 会長】次に、スポーツ振興財団よりお願いいたします。

【塚瀬施設長】<資料 3 により報告>

【小川 会長】今の報告について、何かご質問はありますか。

【前田 委員】運動能力調査で千葉市の子どもたちが全国平均を下回っているものについては、何か原因の特定や対策などはありますでしょうか。

【由利課長補佐】体力については明確にこれといった原因はつかめておりません。小学校では千葉市独自の検定を行っており、その中で水泳のほか、色々な種目を取り入れて体力を高めるという工夫をしていることが、小学校については全国的平均を上回っている要因のひとつと考えております。また、学校ごとに鉄棒週間やマラソン週間のような期間を設けて、みんなで積極的に運動をする機会を作っています。鉄棒は握力の向上が期待できるものですので、こうした取り組みを続けていきたいと考えております。中学校については運動部活動と連携を図ることや、授業の中で 5 分間走など継続して走るような運動を取り入れることで、持久走やシャトルランの向上を図っております。中学校については握力がここ数年全国平均を下回っており、小中体連や市教研などで握力を高めるための研究をしていたり取組をしたりしているので少しずつ向上できればと考えております。また、ロッテマリーナズの協力によりソフトボール型のスポーツ教室を小学校で実施しているので、投げ方の基本を子どもたちや教師自身が教わったりしながら、投力の向上なども図っているところです。

【前田委員】 ジェフでも学校訪問をやっているの、走ることについての指導も必要であれば考えていかなければいけないかなと思いました。

【小川会長】 ほかに質問などありますか。

【委 員】 <なし>

【小川会長】 それでは報告（２）、「千葉市スポーツ推進計画の進行管理について」、事務局よりお願いします。

【草場主査】 <資料４により報告>

【小川会長】 今の報告について、何かご質問はありますか。

【小川委員】 スポーツ・レクリエーション用具の貸出についてですが、グランドゴルフやインディアカなどのニュースポーツの用具等は充実していると思うのですが、ボッチャの貸出について、スポーツ・レクリエーション協会でもボッチャの問い合わせが多い。障害スポーツの充実という観点でも、ボッチャをやってほしいという要望が多いのですが、用具がないということがありますので、例えばこの用具の貸出の中でボッチャを取り入れるというようなことがあるのか教えてください。

【山崎課長】 障害者スポーツの競技用具の貸出は昨年からスタートしておりまして、まずは車椅子スポーツの聖地を目指すということで競技用車椅子をはじめとした障害者スポーツの競技用具の貸出も行っております。これは昨年度設けたスポーツ振興基金を財源としまして、皆様に基金を募って競技用具を整備したものです。２９年度は目標でありました競技用車椅子３０台分の基金が集まりまして、今年度、各区の拠点スポーツ施設に、３on３ができるように６台、中央区を除く５区に設置しました。中央区につきましては、２８年度に１０台購入しておりましたので、その他の区に設置したものです。また、小川委員の言うとおり、ボッチャは非常に人気がありまして、今年度の基金の寄附メニューにボッチャの整備を新たに設けまして、皆様から寄付を募っております。将来的には、各区に３台ずつ配置しようと考えておりますが、今年度すでに４セット購入いたしました。さらにスポーツ推進員の皆様にもご協力いただいておりますので、地域でも障害者スポーツをやっていただきたいということで我々も発信しておりますので、ボッチャセットを各地区の振興会や推進委員の皆様に貸出ができる状況になっております。

【小川会長】 ほかに質問などありますか。

【委 員】 <なし>

【小川会長】 それでは報告（３）、「FUN+WALKプロジェクトの職員実施状況について」、事務局よりお願いします。

【草場主査】 <資料５により報告>

【小川会長】 今の報告について、何かご質問はありますか。

【前田委員】 実施しなかった理由はありますか。実施しなかった理由を聞いた方が推奨するうえでどのような問題点があるのかなどがわかるかと思えます。

【草場主査】 本調査の対象者はこのプロジェクトに参加している方々なので、実施しなかった人は含まれておりません。ただ、おっしゃるとおり推奨していくためには実施しなかった理由を聞いていくことが必要であると考えていますので、こちらについては４月から９月までモニター職員の調査を継続して実施していますので、その中で分析したいと考えております。

【小川会長】 スポーツの実施率が低いということでウォーキングもスポーツの中に含めていると

思うのですが、歩行は運動だと思う人と思わない人が半々ということで、このプロジェクトをやっている人でも歩くことが運動だと思っていない人が半数いるということなのでしょうか。

【草場主査】スポーツというと競技スポーツのようなイメージがあったものを、ウォーキングも立派なスポーツですと、意識的に行えば効果があるものなのだとということ周知していく必要があるということが、この結果から言えることだと思いますので、これについてはモニター職員の調査結果も分析したうえで周知の仕方を考えていきたいと思えます。

【小川会長】ほかに質問などありますか。

【委員】<なし>

【小川会長】続きまして議事に入ります。議事（1）、「運動ガイドマップについて」、事務局よりお願いします。

【草場主査】<資料5により説明>

【小川会長】今の説明について、質問、ご意見等ありましたらお願いします。

【柴田委員】バスケットをやっているのですが、どこでバスケットができるのかという話をよく聞きます。それで例えば蘇我スポーツ公園施設のところに、外でバスケットゴールが設置されている場所があります。こういう場所があるということが分からないとバスケットをしたくてもできない人がいて、それは実施率の低下にも結び付くことだと思います。バスケットは体育館の中でやるものだというイメージがあると思うのですが、単純に公園とかにも公共施設でバスケットゴールが設置されている場所が分かるとありがたいと思えます。

【内山課長補佐】千葉市の公園施設に設置している公共のものだと思いますので、確認します。同様のものは全市で20～30ほどあって、地域の方がお使いになっているという状況ですので、その中の1つとして所管課と調整してマップの中に入れ込めるのであれば反映させたいと思えます。

【五月女委員】前回、タイトルをかたいものとやわらかいものを合わせるような話があったかと思いますが、これで確定なのでしょうか。

【草場主査】前回の会議でタイトルについては「千葉市民の運動ガイド はじめよう自分改革 楽しみながら健康になろう」に決めさせていただきましたので、これで確定と考えております。

【本澤副会長】学校開放の情報も入れた方がいいと思うのですが。

【内山課長補佐】前のご提案をいただいて、どのように入れ込むかを検討させていただいたのですが、現状で学校開放の利用が飽和状態となっており、地域の方々が融通を利かしていただきながらご利用いただいているという現状があるという中で、新たに大々的に周知を図ると新たに利用したいという方がなかなか利用できないということが起きてしまう可能性が高いと考えております。学校開放については整理しながら、よりよい利用方法等が示せる段階になった時に周知を図りたいと考えております。

【前田委員】シーサイドランニングコースが掲載されていていいと思うのですが、街中を走っている方も多くいるので、安全に走れるような場所を指定してもらえるといいと思えます。例えば千葉公園の中にはいいランニングコースがあるというように、施設を借りなくても簡単に運動ができる場所があるというような案内ができればいいと思えます。

【内山課長補佐】シーサイドランニングコースについては、本市がイオンと連携して距離表示を設置したという経緯がありますので掲載させていただいております。今ご提案いただいたように、千葉公園や青葉の森の中にはコースとして距離表示がある場所もありますので、調査をして地図上で表記できるものであれば入れたいと思います。ただ、あまり多く入れてしまうとごちゃごちゃしてしまうということもありますので、いくつか象徴的な場所をピックアップして掲載するような形で考えたいと思います。

【小川会長】そのほか全般を通じて質問などございませんでしょうか。

【小川会長】小中学校の部活動につきまして、国の働き方改革の関連だと思うのですが、スポーツ庁から指針がでて、市独自のガイドラインを作っていると思うのですが、今の段階で変わるようなものがあればお示しいただきたい。

【由利課長補佐】1日の活動時間については原則2～4時間程度で示していたものがあるのですが、スポーツ庁から示されたものについては、平日2時間、休日3時間程度というものがありますので、原則としてはスポーツ庁から出された指針に基づいて、千葉市もガイドラインを策定したいと考えています。

【委員】<なし>

【小川会長】議事については以上となりますが、そのほか何かご質問やご意見などありますでしょうか。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは、以上で協議を終了します。ご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

【内山課長補佐】小川会長、議事進行ありがとうございました。最後に、事務局より連絡がございます。

【竹内主事】平成30年度第2回の審議会については11月7日の水曜日を予定しておりますが、確定しましたらご連絡しますので、お忙しとは存じますが、ご出席につきまして宜しく願いいたします。連絡は、以上です。

【内山課長補佐】それでは、これをもちまして、「平成30年度第1回千葉市スポーツ推進審議会」を終わらせていただきます。ありがとうございました。

閉 会 午後3時30分